



ダッコール リーセ  
*D'accord L'iesse*

## 取扱説明書 / 保証書

このたびはお買上げいただき、ありがとうございます。

ご使用の前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

本書は、いつでもご覧になれる場所に大切に保管してください。

経年劣化があるので、不測の事態を避ける為、お買上げ日より  
3年を超えたご使用はお控えください。

## 安全にお使いいただくために



### 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容です。

#### 落下の危険性：

- お様が落下するおそれがありますので着脱は安全な場所で可能な限り低い姿勢で注意して行ってください。特に慣れないうちや、おんぶは介添えしてもらってください。
- この取扱説明書をよく読み、正しく調節し、全固定箇所を確実に締めて使用してください。
- 身体を傾ける際には、お子様を手で支えて落下しないように注意してください。
- 大きく前屈みをせず、ものを拾うときは、お子様の頭が下向きにならないように、ひざを曲げて腰を落としてください。
- 製品に切れ・破れ・ヒビ等の破損がある場合は使用を中止してください。

#### 窒息の危険性：

- 生後4ヶ月未満のお子様は、装着者の身体に顔が強く押し当てられた状態にしないでください。本製品内で窒息するおそれがあります。
- お子様を装着者の身体に強く縛り付けずに、お子様の頭部を動かせる余裕があるように装着してください。
- お子様の気道をふさぐことがないか等、常に状態に注意して使用してください。
- 早産児及び呼吸器疾患等のある乳幼児は、生後1ヶ月でも縦抱っこを控え、医師にご相談ください。



### 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

#### 準備・着脱時の注意：

- 首のすわらないお子様はベビー用台座を使用し、ヘッドサポートで側頭部及び後頭部を保持してください。
- ご使用前に、バックル等の固定部が確実にとめられていること、特にサポートバックルを必ず確認してください。  
1箇所でも破損している場合は使用しないでください。装着後もゆるみがないかを確認してください。
- 抱っこで使用する場合、お子様の頭で前方、特に足下の視界が妨げられないように装着し、歩行時もお注意ください。

#### ご使用に際しての注意：

- バックルの開口部にお子様が手指を入れないように、使用しないときでもバックルをはめ込んでおいてください。
- 授乳後30分間は使用しないでください。お子様のおなかを圧迫し、消化吸収をさまたげるおそれがあります。
- 連続2時間以上の使用はしないでください。お子様の体調や装着状況を常に確認してください。
- 体調がすぐれない時や、身体に痛みを感じたら、ご使用をお控えください。
- 飛行機、車、バイク、自転車では使用しないでください。
- 料理や掃除等の家事でのご使用に際しては、火気によるやけど、屈むことによる転落等思わぬ事故につながるおそれがありますので十分ご注意ください。
- 製品を火気の近く、屋外、直射日光のあたる場所に放置・保管しないでください。
- 汗や水で湿った状態で摩擦を受けると他に色が移染する場合があります。
- 製品の改造はしないでください。
- 目的外の使用はしないでください。

※各パーツの名前は2ページを参照

# 目次

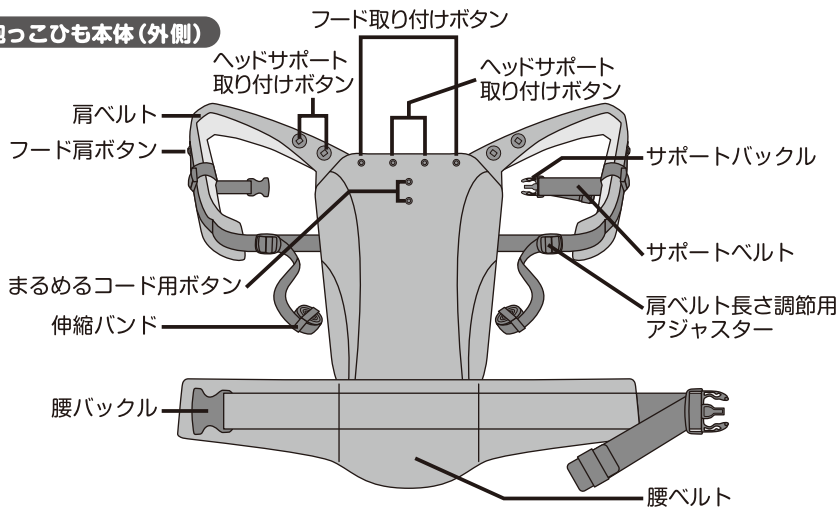
- 警告・注意 ..... 1P(表紙)
- 目次・各部名称 ..... 2P  
(目次/各部名称/ヘッドサポートとは)
- 対象月齢・抱き方 ..... 3P  
(お子様の対象月齢/抱き方と参照ページ/各々の抱き方の対象月齢と必要な部品/SGマーク)
- 装着前の準備と確認 ..... 4P  
(バックルのとめ方・外し方/ベルト調節の方法/腰ベルトの調節/肩ベルトの調節/ベビー肩ベルトの調節/サポートベルトの調節/ヘッドサポートの装着/ベビー用台座の装着)
- 縦対面抱っこ ..... 5P  
(準備/装着/外し方)
- 縦前向き抱っこ ..... 6P  
(準備/装着/外し方)
- おんぶ ..... 7P  
(準備/装着/外し方)
- その他 ..... 8P  
(股あての調節/余ったベルトの処理方法/フードの使い方/まるめる収納/お手入れ)
- 保証規定 ..... 9P
- お問合せ先・動画案内 ..... 10P(裏表紙)

目次・各部名称

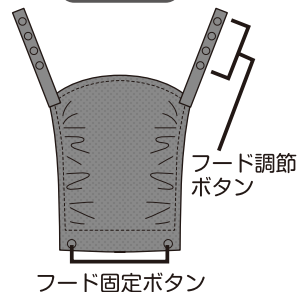
## 各部名称

●以下の「各部名称」で説明されているものが入っているか、破損がないかを確認してください。  
●欠品や破損の場合は、お買上の販売店またはお客様窓口にご連絡ください。

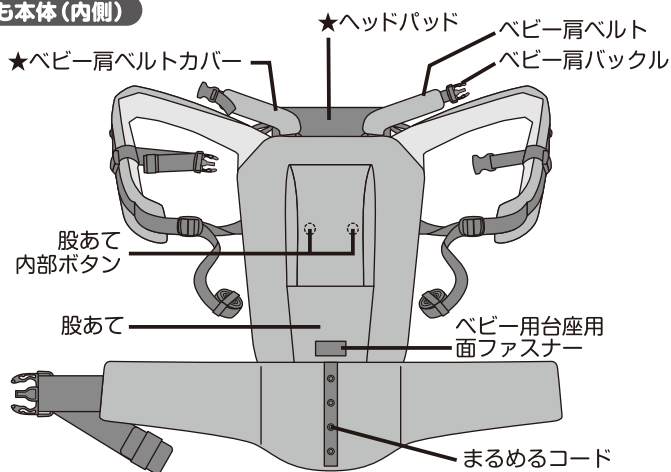
### 抱っこひも本体(外側)



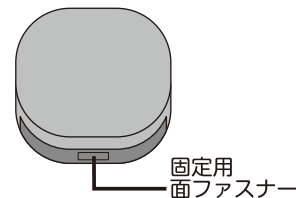
### フード



### 抱っこひも本体(内側)



### ベビー用台座



### ヘッドサポート

ヘッドサポートとは  
【★ベビー肩ベルトカバー】と【★ヘッドパッド】を組み合わせたものでベビー肩ベルトと共にお子様の頭部を守り、首すわり前でも対面抱っこが可能になります。

#### 装着時

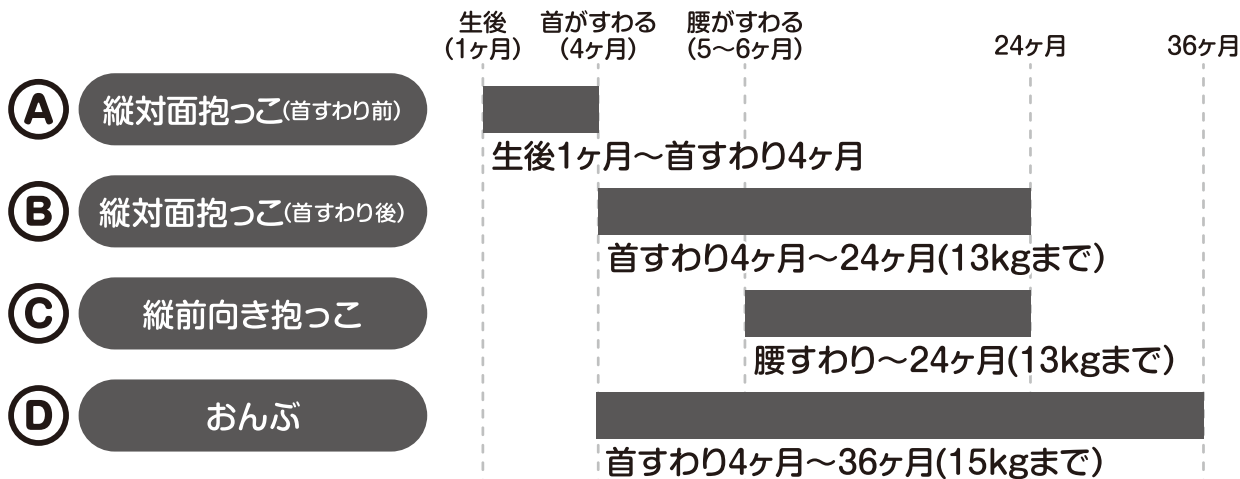


#### 不使用時



# お子様の対象月齢

●退院時や、早産児・呼吸器疾患児等の場合は医師にご相談ください。  
●使用できる装着者のウエストサイズ着衣後約135cmまでです。



※首すわり(4ヶ月)前はベビー用台座とヘッドサポートを使用してください。  
※上記はあくまで一般的な目安です。月齢に応じたお子様の身長・体重には個人差があります。

対象月例・抱き方

## 抱き方と参照ページ

●各々の抱き方を使用するにあたり、4ページの「装着前の準備」を必ず確認し、使い方のページへ進んでください。

**縦対面抱っこ**

**A** 首すわり前    **B** 首すわり後

4ページ確認 ➔ 5ページ **A** **B** へ  
使い方

**縦前向き抱っこ**

**C** 腰すわり後

4ページ確認 ➔ 6ページ **C** へ  
使い方

**おんぶ**

**D** 首すわり後

4ページ確認 ➔ 7ページ **D** へ  
使い方

## 各々の抱き方の対象月齢と必要な部品

◎…必要 ○…使用可 ×…不使用

|          |               | 下限    | 上限   | ベビー用台座 | ヘッドパッド | フード |
|----------|---------------|-------|------|--------|--------|-----|
| <b>A</b> | 首すわり前の縦対面抱っこ  | 1ヶ月   | 4ヶ月  | ◎      | ◎      | ○   |
| <b>B</b> | 首すわり後の縦対面抱っこ  | 4ヶ月   | 24ヶ月 | ×      | ×      | ○   |
| <b>C</b> | 腰すわり後の縦前向き抱っこ | 5~6ヶ月 | 24ヶ月 |        |        |     |
| <b>D</b> | おんぶ           | 4ヶ月   | 36ヶ月 | 15kg   | ×      | ○   |

## 安心のSGマーク付き

- SGマーク付き製品は安全性が高く、安心してお使いいただけます。
- SGマーク制度は、SGマーク付き製品の欠陥により人身事故が発生した場合に、製品安全協会が賠償措置を行う制度です。
- 抱っこひもの場合は、お買上げ日から3年間有効です。
- 製品そのものが故障した場合に補償するものではなく、他の物に生じた損害(物的損害)を賠償するものではありません。製品の欠陥によって傷害等の身体的な損害(人的損害)について賠償する制度です。
- 詳細は、一般財団法人製品安全協会のホームページ <http://www.sg-mark.org/> を参照ください。



# 装着前の準備と確認

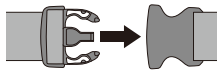
●すべての抱き方に共通の準備になりますので必ず確認してください。



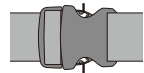
- お子様を乗せる時やおろす時は、実際ご使用になる前に安全な場所であらかじめ準備・調節しておいてください。
- 全ての調節部分を正しく調節し、正しく装着してください。

## バックルのとめ方・外し方

### 取り付ける時



### 取り外す時



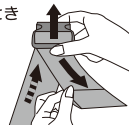
▼印の箇所を押して、抜いてください。

「カチッ」と音がしてから引っ張って確認してください。

## ベルト調節の方法

### 短くする時

引きにくいとき  
立てる



ベルトが引きにくいときはバックルやアジャスターを立ててください。

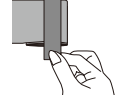
### 長くする時

必ず立てる



バックルやアジャスターを立ててベルトを引いてください。

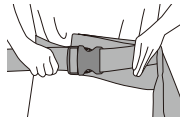
### 余ったベルトの処理



ベルトの端の伸縮バンドでまとめてください。

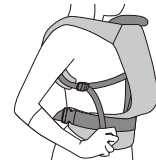
## 腰ベルトの調節

腰ベルトの長さを装着者に合わせて調節し、余ったベルトは伸縮バンドでまとめておいてください。



## 肩ベルトの調節

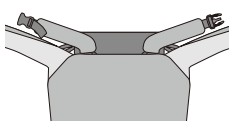
肩ベルトの長さは、左右の端をつかめるくらいに伸ばしておいてください。



## ベビー肩ベルトの調節

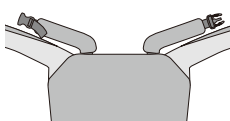
1

### ヘッドパッド使用時

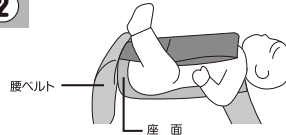


①ベビー肩ベルトにはベビー肩ベルトカバーをつけた状態で使用してください。

### ヘッドパッド不使用時



2



②ベビー肩ベルトの長さを調節します。その際、実際にお子様をのせ、座面がお子様のお尻に当たるように腰ベルトを立てると、ベルトの長さ調節やバックル操作が楽になります。

3



③お子様との隙間が大人のこぶし1個程度になるようにベビー肩ベルトの長さを調節してください。

4

ベビー肩ベルト  
カバー



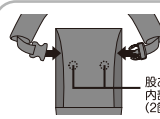
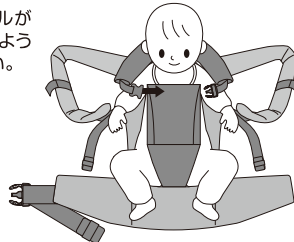
④長さを調節したあとのベビー肩ベルトはベビー肩ベルトカバーの中に押し込んでください。

5

⑤ベビー肩バックルが筒部の中にあるようにとめてください。



**注意**  
バックルをとめる際、左右のバックルに股あての布等を挟まないようご注意ください。



※股あて内部ボタン(2箇所)を外して内部を広くしてから筒部の中でバックルをとめてください。内部を広げることで布等を挟むことを防げます。

### カバーが汚れたら

ベビー肩ベルトカバーが汚れたら外して洗う事が出来ます。

## サポートベルトの調節

それぞれ使用する抱き方の仕様をご確認頂き、調整してください。

### 縦対面抱っこ・縦前向き抱っこ

1



①サポートベルトの上下位置を、ご自分の背中中でとめられる高さに調節してください。下げすぎるとサポートバックルがとめにくく、上げすぎると首に負荷がかかります。肩ベルトをゆるめてから一度両方の肩ベルトを前に引っ張ると、サポートバックルをつかみやすくなります。

2



②サポートベルトの長さを調節し、余ったベルトは伸縮バンドでまとめておいてください。

### おんぶ



サポートベルトの上下位置を、ご自分の快適な位置に調節してください。通常は抱っここの位置より下側になります。サポートベルトの長さを調節してください。

※慣れないうちは他の方に介添えをお願いしてください。

## ヘッドサポートの装着

首すわり前の縦対面抱っこではヘッドサポートの装着が必要です。首すわり後はヘッドサポートからヘッドパッドを外すことができます。

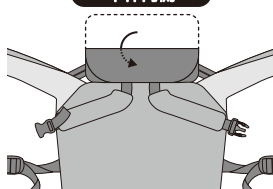
ヘッドパッド(内側)



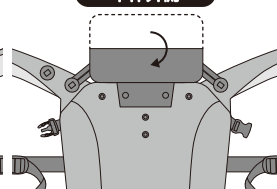
ヘッドパッド(外側)



本体内側



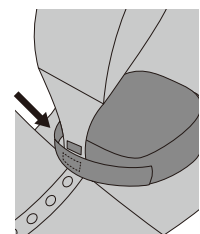
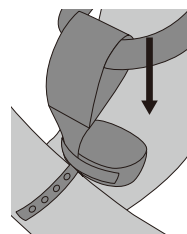
本体外側



ヘッドパッドの上側を本体外側に折り、背中と肩部分にあるヘッドパッド取り付けボタンに付けてください。

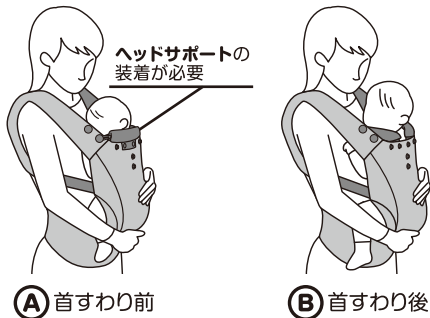
## ベビー用台座の装着

首すわり前の縦対面抱っこではベビー用台座の装着が必要です。



股あてにベビー用台座を通して、面ファスナーを止めてください。

**警告** 抱っこするときには安全な場所を確保し、行ってください。



**準備**

- 最初に4ページの【装着前の準備と確認】をご確認ください。
- 首すわり前のお子様はベビー用台座とヘッドサポートの装着が必要です。4ページの最下段【ヘッドサポートの装着】【ベビー用台座の装着】をご確認ください。
- サポートベルトの調節はそれぞれの抱き方で異なりますので4ページを確認して調整してください。

※慣れないうちは他の方に介添えをお願いしてください。  
 ※ヘッドサポートとは「ベビー肩ベルトカバー」と「ヘッドパッド」を組み合わせたものです。

**装着**

**1**

①お子様の後頭部がベビー肩ベルトカバーに当たるようにしてください。

**2**

②腰ベルトを立てて抱っこひも本体を曲げ、座面を作ってください。お子様のお尻との間に隙間がある場合には巻いたタオルで調節してください。

**3**

③ベビー肩ベルトカバーがお子様の後頭部から側頭部に当たるようベビー肩ベルトを股あて内部でとめてください。

股あて内部ボタン(2箇所)

※股あて内部ボタン(2箇所)を外して内部を広くしてから筒部の中でバックルをとめてください。内部を広げることで布等を挟むことを防げます。

**4**

④股あてがあごより上に来る場合は、8ページの「股あての調節」を参照して、股あて上部を折り返してください。

**注意**

バックルをとめる際、左右のバックルに股あての布等を挟まないようご注意ください。

**5**

⑤ベビー肩ベルト装着後に一度肩ベルトの付け根の外側に両手を添えて、持ち上げてから手を添えたまま座らせて、右記のチェックをしてください。

**チェック1:** 頭が動かせて、かつ、ぐらつかない

**チェック2:** 気道確保<sup>\*1</sup> 股あてとの間隔がある

**チェック3:** 胸にこぶし1個分の余裕あり

**チェック4:** バックルが股あての筒部に通され確実にとめられている

**チェック5:** 巻いたタオルで調節した場合、お子様のお尻がズレていない

**6**

⑥お子様を寝かせ、腰ベルトを装着し、腰バックルを確実にとめてください。

**7**

⑦肩ベルトに腕を通して、首の後ろでサポートバックルを確実にとめてください。最初にサポートバックルをつかんでいると簡単です。

**8**

⑧抱っこひもの外側から、お子様の頭と背中を両手で支えて上体を起こしてください。

**9**

⑨肩ベルトを左右同じ長さに調節します。余ったベルトは伸縮バンドでまとめてください。

**10** ⑩装着後は鏡を使ったり、介添えの方をお願いして、下記のチェックをしてください。

**チェック1:** お子様の頭で、装着者の視界が妨げられない

**チェック2:** 気道確保<sup>\*1</sup> の再確認

**チェック3:** お子様の顔が装着者の胸に密着していない

**チェック4:** 頭が左右に動かせる

**チェック5:** お子様の手足が挟まれていない

**チェック6:** お子様の股関節・足がM字形で、全体が無理な体勢になっていない

**ポイント**

※お子様のおでこにキスができるくらいの位置が最適だと言われています。お子様が小さい場合は、腰ベルトの位置を上げて、ご自身の最適位置を探してください。

**警告** 正しく装着されていないと、お子様が落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

**\*1気道確保:** お子様の口や鼻がふさがれていない、のどを押し付けていない等、呼吸をしやすくすることです。

**警告** 抱っこするときには安全な場所を確保し、行ってください。



準備

- 最初に4ページの【装着前の準備と確認】をご確認ください。
- サポートベルトの調節はそれぞれの抱き方で異なりますので4ページを確認して調整してください。

※フードを前向き抱っこには使用しないでください。  
 ※慣れないうちは他の方に介添えをお願いしてください。

腰すわり(5-6か月)はあくまで目安です。お子様により個人差がありますので、腰すわりがまだのお子様は前向き抱っこはしないでください。

装着

1

①腰ベルトを装着し、腰バックルを確実にとめてください。

2

②お子様を前向きに抱っこしてください。その際、股あてはお子様の背中側にしてください。安全な場所で座って装着すると安心です。

3

③お子様を片手で支えながら抱っこひも本体で体をホールドしてください。

お子様が小さく、お顔が隠れてしまう場合は、必ずタオルをお尻に敷いてお顔の高さを調節してください。

4

④肩ベルトに腕を通して、首の後ろでサポートバックルを確実にとめてください。

5

⑤ベビー肩ベルトを内側にある股あて内部でとめてください。

**注意** バックルをとめる際、左右のバックルに股あての布等を挟まないようご注意ください。

※股あて内部ボタン(2箇所)を外して内部を広くしてから筒部の中でバックルをとめてください。内部を広げることで布等を挟むことを防げます。

6

⑥お子様の腕と足を肩ベルトの上から出します。

大きいお子様の場合

手はこの上、足はこの下になるよう、気をつけて装着してください。

お子様が大きい場合、腕は肩ベルトの上にする事も可能です。

7

⑦お子様の手と足の場所を確認したら、肩ベルトを左右同じ長さに調節します。余ったベルトは伸縮バンドでまもってください。

8

⑧装着後は鏡を使ったり、介添えの方をお願いして、下記のチェックをしてください。

**チェック1: 気道確保**\*1

**チェック2: 胸にこぶし1個分の余裕あり**

**チェック3: 頭が左右に動かせる**

**チェック4: お子様の手足が挟まれていない**

**チェック5: お子様の股関節・足がM字形で、全体が無理な体勢になっていない**

**チェック6: バックルが股あての筒部に通され確実にとめられている**

**警告** 正しく装着されていないと、お子様が落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

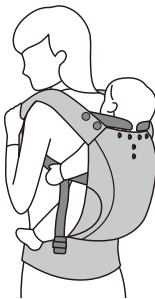
\*1 気道確保: お子様の口や鼻がふさがれていない、のどを押し付けていない等、呼吸をしやすくすることです。

外し方

装着するときの逆の手順でおろしてください。

**警告** 外すときにも必ず安全な場所を確保し、行ってください。

**警告** 抱っこするときには安全な場所を確保し、行ってください。



準備

- 最初に4ページの【装着前の準備と確認】をご確認ください。
- サポートベルトの調節はそれぞれの抱き方で異なりますので4ページを確認して調整してください。

※首が据わっていないお子さまはおんぶが出来ません。  
 ※慣れないうちは他の方に介添えをお願いしてください。

装着

1

①お子様の後頭部がヘビー肩ベルトカバーに当たるようにしてください。

2

②腰ベルトを立てて抱っこひも本体を曲げ、座面を作ってください。お子様のお尻との間に隙間がある場合は巻いたタオルで調節してください。

3

③ヘビー肩ベルトカバーがお子様の後頭部から側頭部に当たるようヘビー肩ベルトを股あてで内部でとめてください。

股あて内部ボタン(2箇所)

※股あて内部ボタン(2箇所)を外して内部を広くしてから筒部の中でバックルをとめてください。内部を広げることで布等を挟むことを防げます。

4

④股あてがあごより上に来る場合は、8ページの「股あての調節」を参照して、股あて上部を折り返してください。

**注意** バックルをとめる際、左右のバックルに股あての布等を挟まないようご注意ください。

5

⑤ヘビー肩ベルト装着後に一度手を添えて座らせて、右記のチェックをしてください。

**チェック1: 気道確保※1 股あてとの間隔がある**  
**チェック2: 胸にこぶし1個分の余裕あり**  
**チェック3: バックルが股あての筒部に通され 確実にとめられている**  
**チェック4: 巻いたタオルで調節した場合、お子様のお尻がズレていない**

**警告** 正しく装着されていないと、お子様が落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

6

⑥お子様を寝かせ、腰ベルトを装着し、腰バックルを確実にとめてください。

7

⑦肩ベルトに腕を通して、肩に掛け、静かに起き上がってください。

8

9

⑧サポートバックルをとめてください。  
 ⑨肩ベルトを左右同じ長さに調節します。余ったベルトは伸縮バンドでまとめてください。

10

⑩装着後は鏡を使ったり、介添えの方をお願いして、下記のチェックをしてください。

**チェック1: 気道確保※1の再確認**  
**チェック2: お子様の顔が装着者の背中に密着していない**  
**チェック3: 頭が左右に動かせる**  
**チェック4: お子様の手足が挟まれていない**  
**チェック5: お子様の股関節・足がM字形で、全体が無理な体勢になっていない**

**警告** 正しく装着されていないと、お子様が落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

※1気道確保: お子様の口や鼻がふさがれていない、のどを押し付けていない等、呼吸をしやすくすることです。

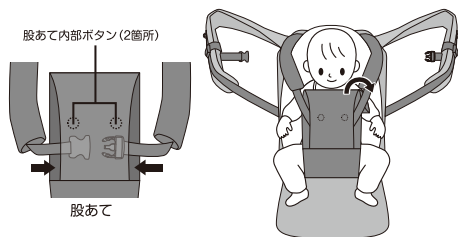
外し方

装着するときの逆の手順でおろしてください。おんぶではお子様が見えにくいので特にご注意ください。

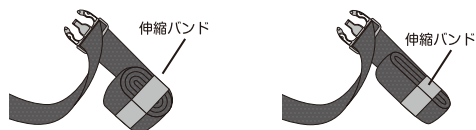
**警告** 外すときにも必ず安全な場所を確保し、行ってください。

## 股あての調節

●お子様が小さくてあこが股あてに触れる場合には、ベビー肩バックルを筒部の下部でとめてください。バックルとベルトが股あて内部ボタンよりも下方にあることを確認してから股あて内部ボタンをとめ、股あての上部をお子様側に折り返してください。  
お子様のお尻にタオル等を敷いて調節できれば、それでも結構です。



## 余ったベルトの処理方法



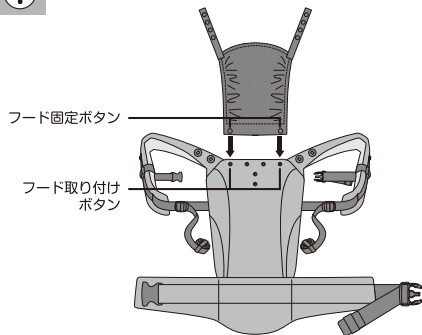
余ったベルトを折りたたみ先端の伸縮バンドでまとめます。

余ったベルトが長い場合、ひとつにまとめるループの長さを長くすると、薄いループで巻くことができます。

## フードの使い方

●前向き抱っこには使用しません。

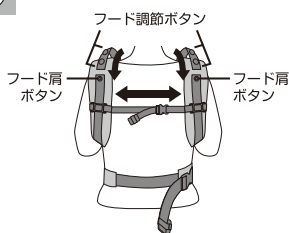
①



フード固定ボタン  
フード取り付けボタン

① 本体のフード取り付けボタン(2ヶ所)にフード固定ボタンをとめます。

②



② 本体のフード肩ボタン(左右)にフード調節ボタンをとめます。  
※最適な位置のボタンをとめてください。  
※着脱は無理に引っ張ったりせずボタンの近くを持ってボタンの垂直方向に着脱してください。



●お子様を日差しから守ったり、首カクンを防止します。  
●使用しないときには外すことができます。ご自身のカバンやポケットなどに収納したり、単独で洗えます。  
※別売のオプションフードで各種の色柄をお楽しみいただけます。



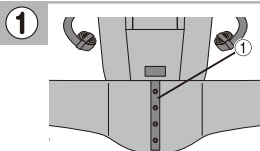
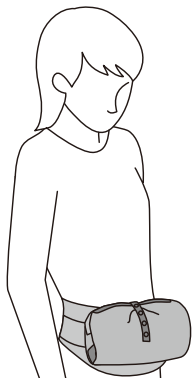
**警告**

フードを使う時は、特にお子様の様子に注意してください。気道がふさがると窒息するおそれがあります。

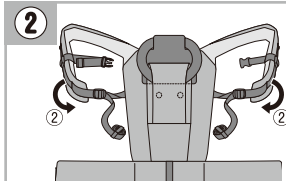
## まるめる収納

●すぐに使用しない時、腰につけたままコンパクトに収納できます。

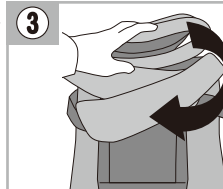
### イメージ図



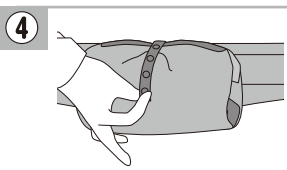
① 腰ベルトをつけたままで腰ベルトの内側に付いているまるめるコード確認します。



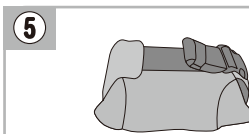
② 肩ベルトをもち、身体と並行にします。



③ 手前にまるめます。



④ 本体外側の丸めるコード用ボタンと丸めるコードをとめます。



⑤ 腰ベルトを外して、腰ベルトで巻くとさらに小さく収納できます。

※1週間以上保管するときは、販売されていたときと同様にたたむかハンガーに掛け肩ベルト等に負荷のかからない状態にしておいてください。変形することがあります。

## お手入れ



30℃を限度とし、洗濯機(非常に弱い洗濯)か、やさしく手洗いをしてください。



漂白しないでください。タンブル乾燥機は使用しないでください。



遠心脱水の場合は短時間で実施し、形を整えて日陰の吊り干しをしてください。



アイロン掛けはできません。ドライクリーニングはできません。



ウェットクリーニングができます。(非常に弱い処理)

●ベビー用台座を洗濯する場合には中の芯材を取り外してください。

●色落ちする場合がありますので他のものとは別に洗ってください。

●洗濯ネットを使用し、すべてのバックル類をはめ、無蛍光洗剤を使用してください。

●洗濯すると縮むことがあります。

●軽い汚れは、湿った布でたたいて落としてください。

●生地表示等は、製品の洗濯表示ラベルを参照ください。

●付属部品は、個別の洗濯表示がない場合は左の表示に従ってください。個別表示がある場合には、部品の洗濯表示を参照ください。



# 保証書

本書は、本書記載内容で無料保証を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中、製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 保証規定

1. 一度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
2. 保証期間内（お買い上げ日より1年）に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で保証いたします。
3. 保証期間内でも次のようなものは保証対象外となります。
  - (a) 部品の自然劣化による変色や変形。
  - (b) 縫製部分の傷や破れや汚れ。
  - (c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
  - (d) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変や事故による故障および損傷。
  - (e) 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
  - (f) 本書のご提示がない場合。
  - (g) 一般家庭以外で、業務用等にご使用され故障した場合。
  - (h) 伸縮バンド、フード等のゴム類の伸び。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの保証サービスはいたしかねます。
5. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、保証できないこともあります。

|   |   |      |
|---|---|------|
| 製品名<br><b>ダッコールリーセ</b><br>D'accord Liesse | お買い上げ日<br>年 月 日                           | 販売店名 |
| 管理番号<br>(洗濯タグをご覧ください。)                    | 保証期間<br><b>お買い上げ日より1年</b><br>(ただし保証規定による) |      |
| お客様                                       | お名前<br>様                                  | TEL  |
|   | ご住所                                       |      |

- お買い上げ後、お買い上げ日、お客様名、販売店名、管理番号をただちにご記入願います。
- 万一故障が生じた場合はこの保証書及びレシート、または保証書シール、または保証書レシートをご提示ください。
- ご贈答、ご移転で保証書に記入してある販売店に依頼できない場合はお客様相談窓口にご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料保証をお約束するものです。従ってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後において不明な点がある場合は、お客様相談窓口にお問い合わせください。
- 保証書にご記載いただきました個人情報につきましては、個人情報保護法の規定に従い、お客様の故障保証についてのみ利用させていただきます。それ以外の用途には利用いたしません。
- 本製品は安全を重視している為、厚い生地を使用し多くの補強縫製部を有しています。確実に縫製するために、生地の重なり部分や補強縫製部の色目が変わることがありますが、安全性を優先させておりますのでご理解ください。
- 製品の品質向上のため予告なく仕様を変更する場合があります。
- 取扱説明書の図の細部等が実物と異なる場合があります。



ダッコール リーセ  
*D'accord Liesse*

### 商品に関するお問い合わせ

販売元

## 株式会社 西松屋チェーン

〒671-0218 兵庫県姫路市飾東町庄266-1

【お客様相談窓口】フリーダイヤル 0120-7-24028

受付時間 10:00～18:00(土・日・祝日・弊社所定休日を除く)

### 使用方法の動画等

使用方法の動画等の情報に関しましては、下記のホームページ経由で参照いただけます。  
ホームページ内の「ダッコール」のページからアクセスしてください。

検索は...

URL

<http://www.24028.jp/>

ニシマツヤ  
24028 ダッコール

検索



## 装着台がない場合の「縦対面抱っこ」（腰すわり後）

**警告** なるべく低い姿勢で、安全な場所で行ってください。最初は、肩ベルトの長さをやや長めに調節しておきます。

### 装着

**1**



①腰ベルトを装着し、股あての上部を腰ベルトにはさんでください。

**2**



②お子様を抱き上げ、股あてを装着者との間にはさみます。

**3**  
**4**



③片手でお子様を支え、片側ずつ肩ベルトをかけます。  
④ベビー肩ベルトは外側にたらしめます。

**5**



⑤サポートバックルをはめます。（両手が使えるようになります。）一度両方の肩ベルトを前に引っ張ると、サポートバックルをつかみやすくなります。

**6**



⑥股あてを引き上げます。

**7**



⑦股あての中で、ベビー肩バックルをとめます。

**8**  
**9**



⑧肩ベルトの長さを調節します。

⑨「縦対面抱っこ」に書いてあるチェックポイントにしたがって、確認してください。  
①で股あてを腰ベルトにはさまずに、②で股あてをお子様との間にはさむ場合には①と⑥を省略できます。

### 外し方

装着するときの逆の手順でおろしてください。

**警告** 外すときにも必ず安全な場所を確保し、行ってください。